3　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成29年度第３・四半期 発行（借入）	償還差引き	前年同期 発行（借入）	償還差引き
国債等	341,392	151,586	359,575	200,147
国債（１年超）	324,653	134,566	342,413	184,704
借入金	16,739	17,021	17,162	15,443
国庫短期証券等	825,395	699,136	866,994	634,754
国庫短期証券	709,894	583,635	751,494	519,253
一時借入金	115,501	115,501	115,500	115,500

区分	平成29年度第３・四半期 償還差引き	前年同期 償還差引き
国債等	189,805	184,198
国債（１年超）	190,087	184,711
借入金	△ 282	△ 513
国庫短期証券等	126,259	137,369
国庫短期証券	126,260	126,260
一時借入金	△ 0	11,109
合計	247,166	247,166
調整項目	1,801	1,801
総計	248,967	248,967

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、18兆9,805億円の受取超過であって、前年同期（15兆9,428億円の受取超過）に比べ、３兆377億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行32兆4,653億円、償還13兆4,566億円、差引き19兆87億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆6,739億円、償還１兆7,021億円、差引き282億円の支払超過であった。

国庫短期証券等の収支は、12兆6,259億円の受取超過であって、前年同期（23兆2,241億円の受取超過）に比べ、10兆5,981億円受取超過額が減少した。国庫短期証券の収支は、発行70兆9,894億円、償還58兆3,635億円、差引き12兆6,260億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,501億円、償還11兆5,501億円、差引き０億円の支払超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	11,243	△ 85,513	△ 74,270
特別会計等	△ 80,142	80,011	△ 131
財政投融資	5,667	△ 59,605	△ 53,938
外国為替資金	7,491	907	8,399
保険	△ 69,808	74,129	4,321
その他	△ 23,493	64,580	41,087
小計	△ 68,899	△ 5,502	△ 74,401

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成29年度第３・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還（△）	△ 169,784	△ 256,897
特別会計の債券売・買（△）	—	—
財政投融資	—	—
国債整理基金	—	—
その他	△ 101,066	△ 91,757
計	△ 270,849	△ 348,654

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、27兆849億円の支払超過であって、前年同期（34兆8,654億円の支払超過）に比べ、７兆7,805億円支払超過額が減少した。

その内容についてみると次のとおりである。

1　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達1,134億円、資金返済17兆918億円、差引き16兆9,784億円の支払超過であって、前年同期（25兆6,897億円の支払超過）に比べ、８兆7,113億円支払超過額が減少した。

2　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期も、特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。

3　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、10兆1,066億円の支払超過であって、前年同期（９兆1,757億円の支払超過）に比べ、9,308億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（24兆8,967億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（1,801億円の受取超過）を除いた収支は、24兆7,166億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、27兆849億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（17兆8,455億円）に比べ、２兆3,683億円減少して15兆4,772億円となった。

別表１

財政資金対民間収支実績表

△印は支払超過（単位　億円）

区分	10月 収入	10月 支出	10月 差引き	11月 収入	11月 支出	11月 差引き	12月 収入	12月 支出	12月 差引き	計 収入	前年同期	支出	前年同期	差引き	前年同期	前年同期比
(1) 一般会計	46,133	47,310	△ 1,177	54,172	76,923	△ 22,750	88,370	53,200	35,170	188,675	182,133	177,433	187,262	11,243	△ 5,130	16,373
租税	42,700	7,845	34,856	51,344	5,465	45,879	85,123	12,804	72,320	179,168	172,513	26,113	27,381	153,055	145,132	7,923
税外収入	1,443	—	1,443	1,873	—	1,873	2,218	—	2,218	5,534	5,553	—	—	5,534	5,553	△ 18
社会保障費	—	20,253	△ 20,253	—	12,567	△ 12,567	—	14,521	△ 14,521	—	—	47,341	51,063	△ 47,341	△ 51,063	3,722